



2007年3月期 中間期 業績概要

2006年10月26日
アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

東証第1部:6754

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容について
- 2007年3月期中間期の総括
- 2007年3月期中間期業績概要
- 下期の取り組み
- 2007年3月期通期見通し

当社の事業セグメントの呼称と事業内容について

セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部の 主な所在国
計測器	ワイヤレス	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト、無線インフラ敷設・保守用テストなど	日本・米国 (英国)
	汎用	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本 (英国)
	光・デジタル・IP	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、およびネットワーク評価・保守用テストなど	日本 (米国・フランス)
	サービスアシュアランス	携帯電話ネットワークなどのモニタリングとサービス品質保証用ソフトウェアなど	デンマーク (イタリア)
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など	日本
その他		印刷はんだ検査機、光デバイスなど	日本

中間期の総括(1)

1. 中間期業績(連結)

売上高: 465億円(対前年同期比+20%)
営業利益: 19億円(対前年同期比+8億円)
経常利益: 3億円(対前年同期比+9億円)

2. 売上動向

事業別: 計測器が好調(期初計画比4%増)

- ワイヤレス: ハンドヘルド計測器
- IPネットワーク: 光アクセス系計測器

地域別: 海外が好調

- 米国: ハンドヘルド計測器
- 欧州、アジア: ワイヤレス計測器、光アクセス系計測器

中間期の総括(2)

3. 受注動向

計測器が引き続き好調

北米におけるワイヤレス計測器

産業機械も回復のきざし

4. 事業構造改革

2006年度上期に以下の事業構造改革を完了

■4月: Anritsu EMEA Ltd.の設立

(欧州・中近東・アフリカ地域販売統括会社)

■6月: サービスアシュアランス事業部の設立

■7月: 情報通信事業をアンリツネットワークス(株)として分社化

■9月: 北米光計測器製造部門を閉鎖、東北アンリツ(株)への生産移管

連結中間期業績概要

期初における中間期計画比、前年同期比共に売上高、利益伸張

単位: 億円

	前中間期実績	期初(4/26)中間期計画	当中間期実績	期初計画比増減額
売上高	388	440	465	+25
営業利益	11	5	19	+14
経常利益	△6	△10	3	+13
税引前利益	△6	△10	1	+11
当期純利益	△13	△15	△4	+11
FCF	△65	-	31	-

連結売上高・営業利益(事業別)

計測器は順調、産業機械は横ばい

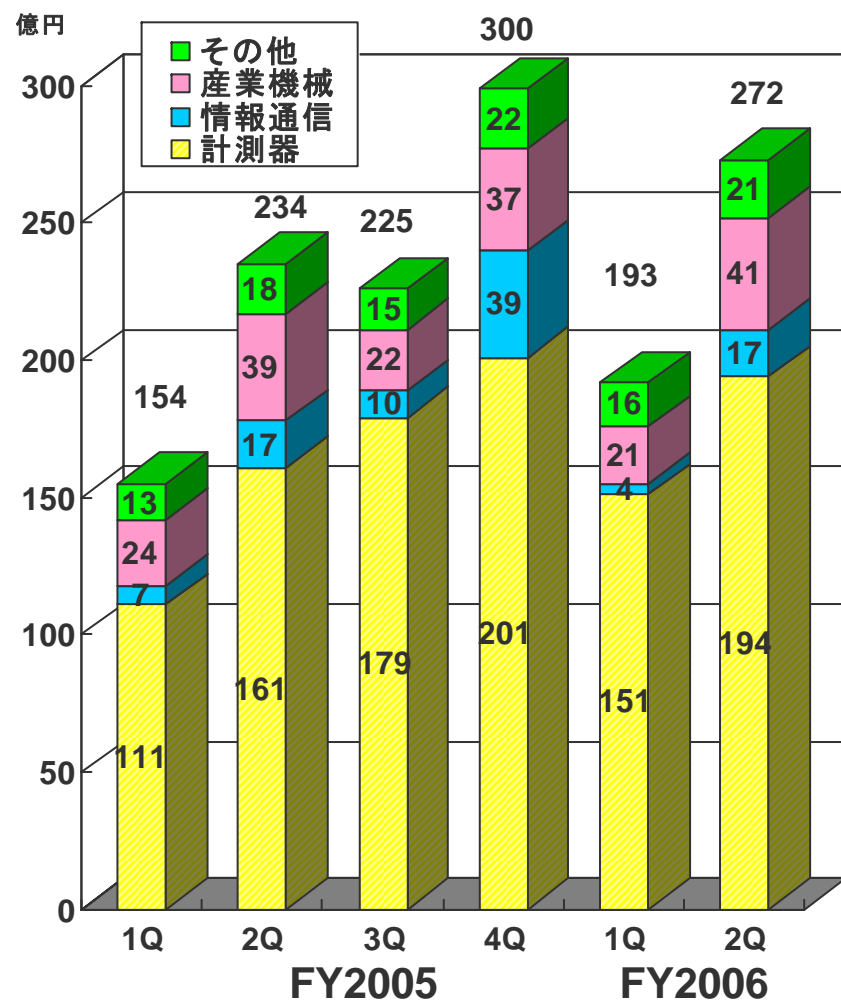
単位:億円

		前中間期 実績	期初(4/26) 中間期計画	当中間期 実績	期初計画比 増減額
計測器	売上高	271	330	344	+14
	営業利益	14	9	16	+7
情報通信	売上高	23	16	21	+5
	営業利益	△9	△7	△5	+2
産業機械	売上高	63	63	62	△1
	営業利益	5	3	3	-
その他	売上高	30	31	38	+7
	営業利益	1	0	5	+5

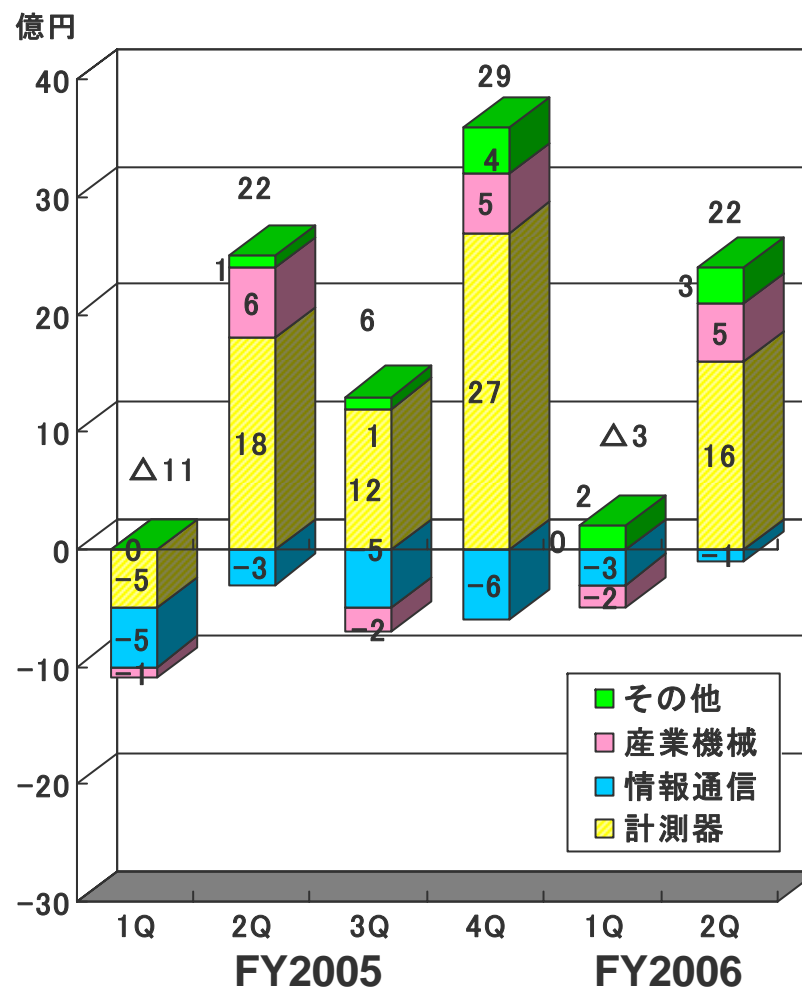
構造改革の成果
で、減収だが赤
字幅縮小

デバイス事業
が貢献

連結損益 四半期別推移

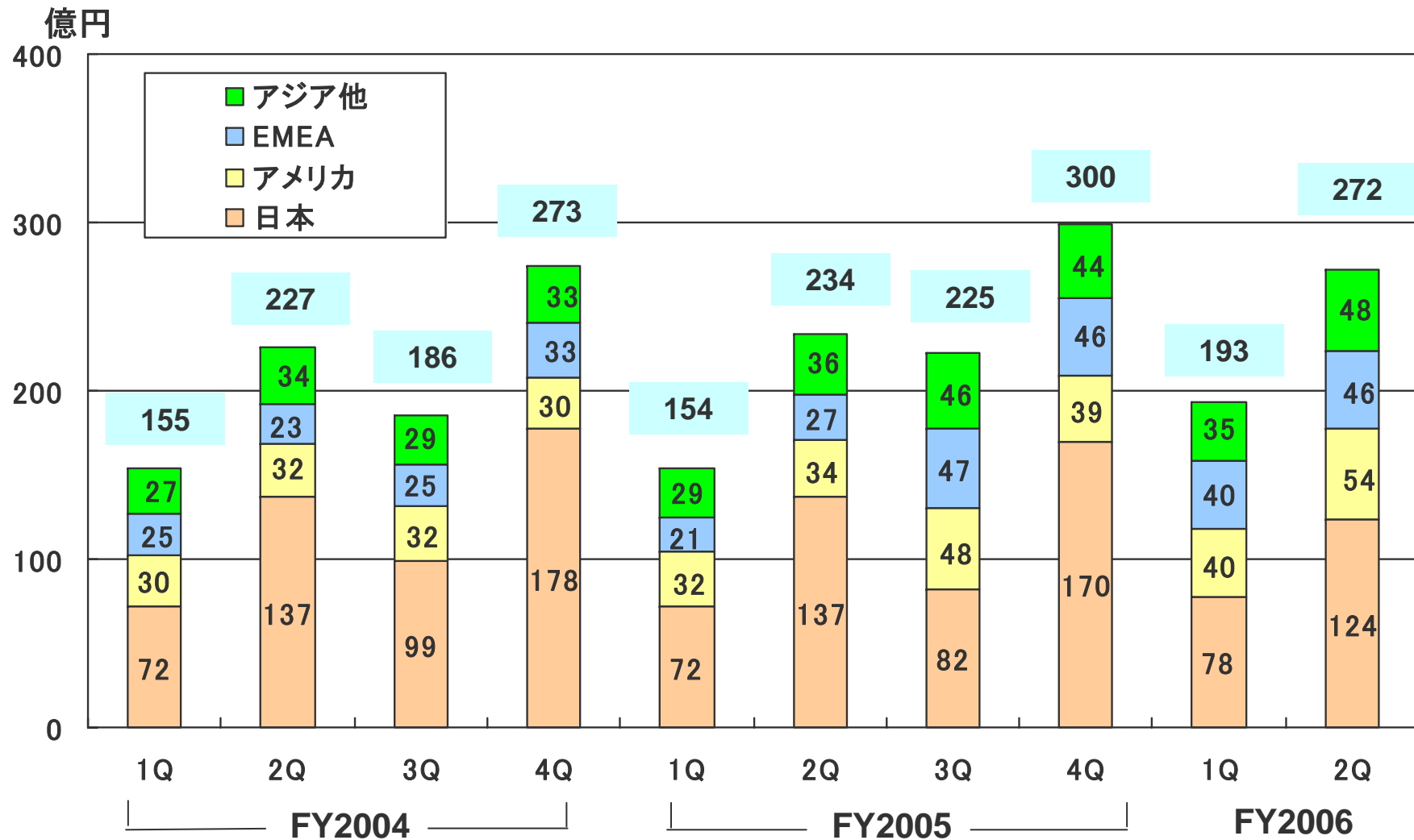


連結売上高推移



連結営業利益推移

地域別売上高推移（連結）

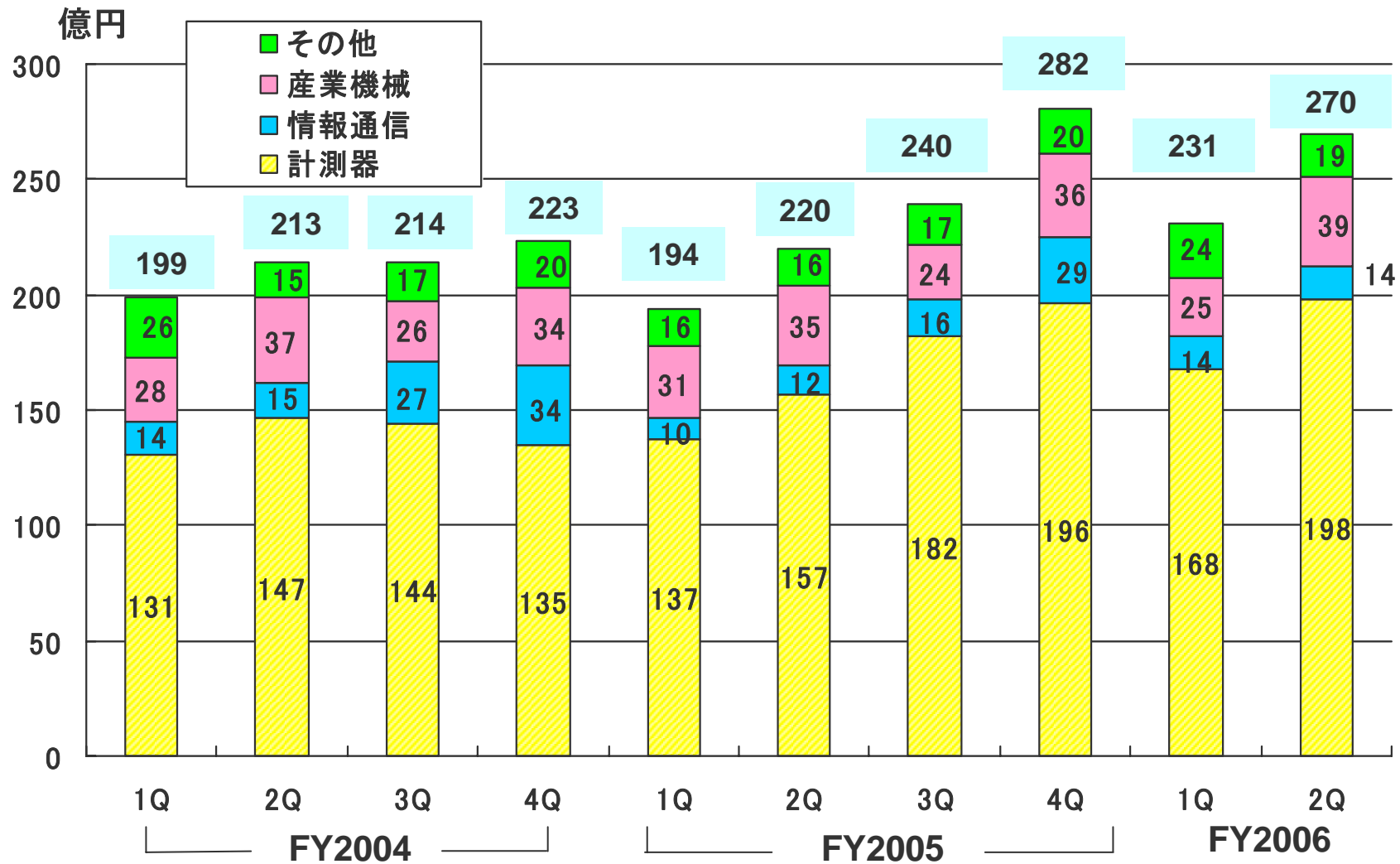


Discover What's Possible™

注)2006年度から「ヨーロッパ」は「EMEA」(欧州、中東、アフリカ)に変更された。過去のデータはすべて現在のEMEAの定義で修正済み。

Anritsu

セグメント別受注推移（連結）



Discover What's Possible™

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入している

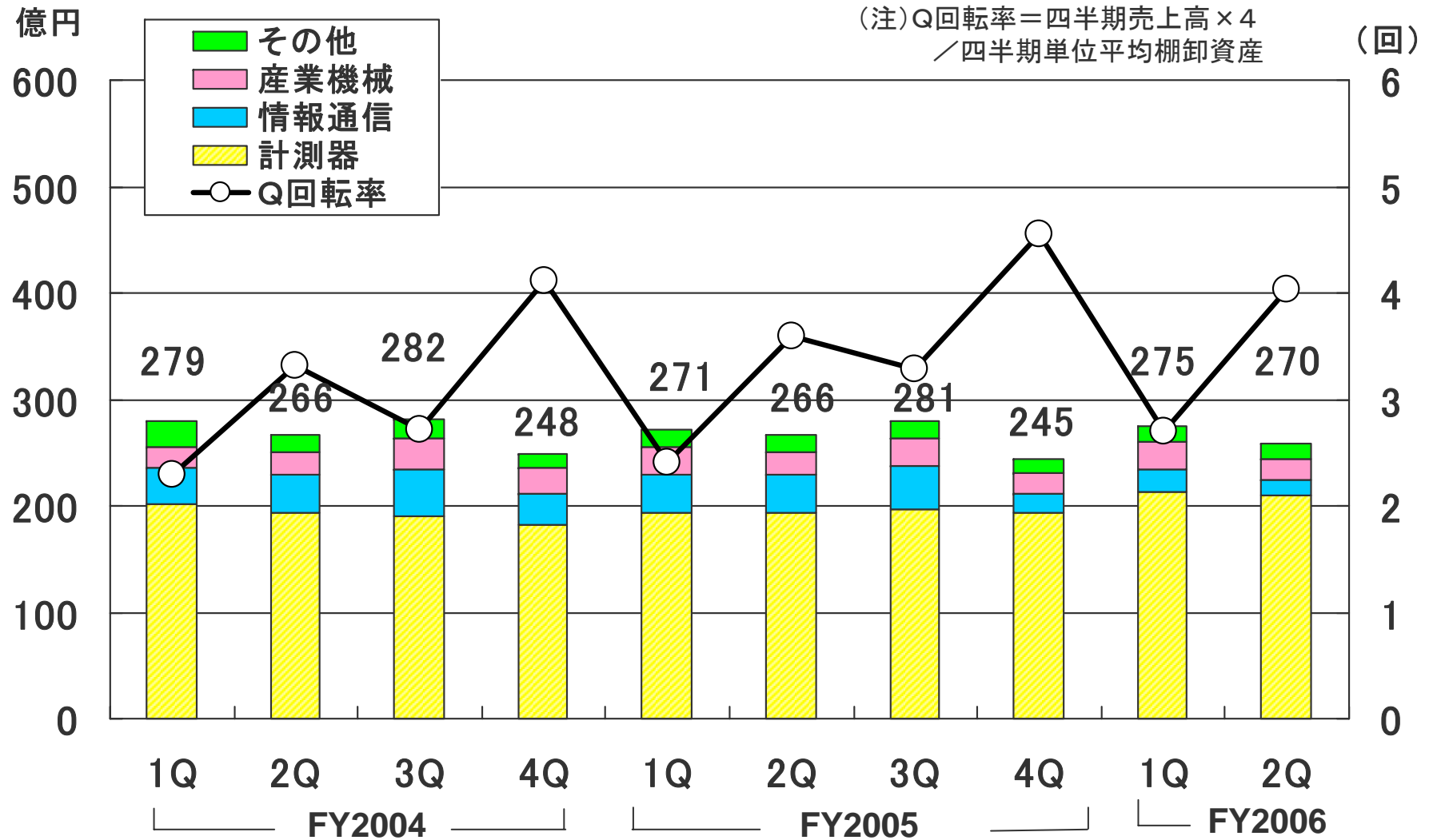
Anritsu

営業外・特別損益概要(連結)

△:損失 (単位:百万円)

	前中間期 実績	当中間期 実績
営業利益	1,053	1,874
金融収支	△ 442	△ 516
棚卸資産評価損等	△ 995	△ 568
為替差損益	328	△ 297
その他	△ 571	△ 187
営業外損益計	△ 1,680	△ 1,567
経常利益	△ 627	307
固定資産売却損益等	104	△ 47
その他	△ 44	△ 192
特別損益計	60	△ 239
税引前利益	△ 567	68

棚卸残高推移(連結)



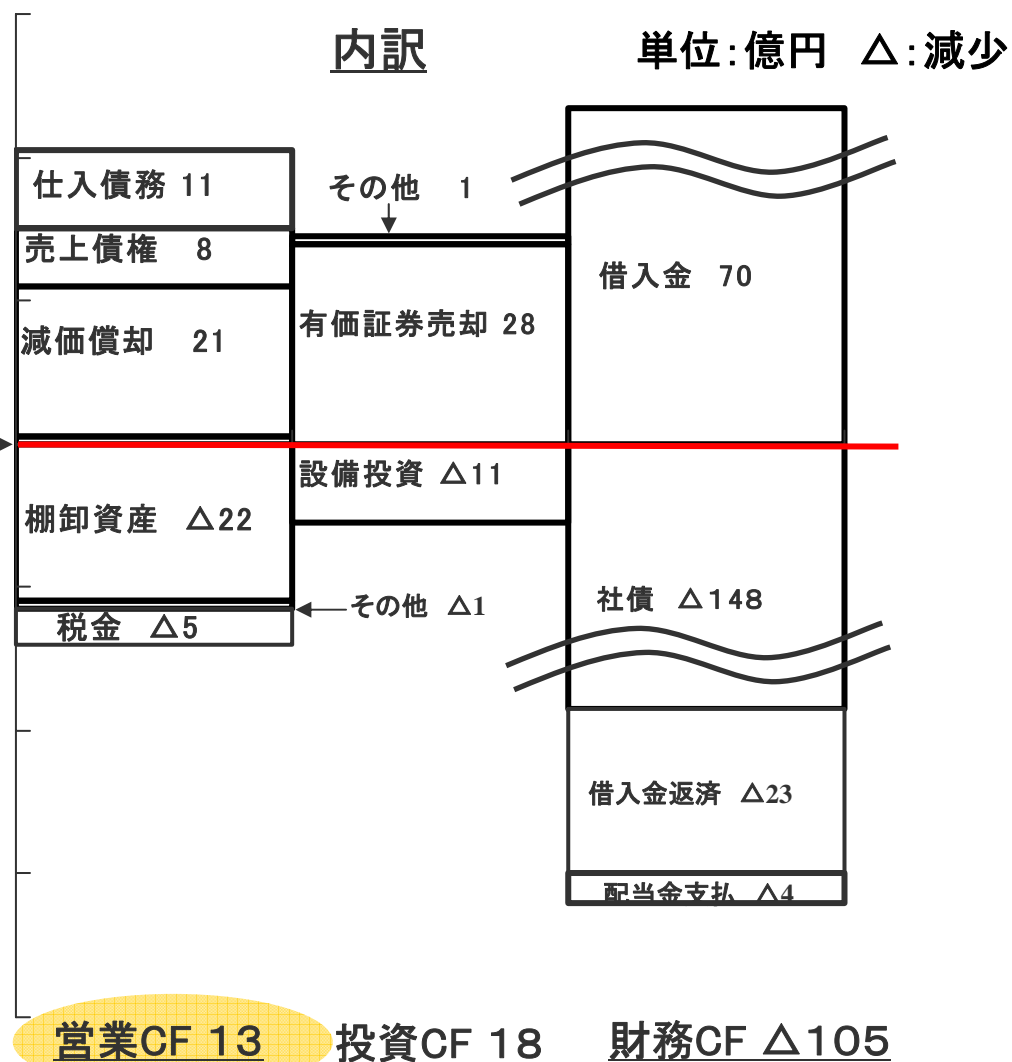
連結キャッシュフロー概要

当中間期

- ①営業CF: 13億円
- ②投資CF: 18億円
- ③財務CF: Δ 105億円

フリーキャッシュフロー
(①+②): 31億円

現金及び現金同等物の
期末残高
235億円



2006年下期の取り組み—計測器事業(1)

1. ワイヤレス分野及び汎用分野

現在の市場認識	下期施策
旺盛な欧米3.5Gチップセット開発 国内携帯市場の需要は踊り場 アジアの携帯電話製造は堅調	開発用テストに加え 新型3.5G製造用テストを投入
旺盛な北米3.5Gインフラ投資	高性能3.5Gハンドヘルド計測器拡販
多様な無線インフラの拡大	汎用ハンドヘルド計測器の機能拡張



NEW

HSDPA携帯電話量産対応
ラジオコミュニケーションアナライザ



NEW

MT8222A BTSマスタ
GSM/GPRS/W-CDMA/HSDPA
WiMAX対応機



NEW

MT8212B セルマスタ
CDMA2000 1xEVDO
Rev.A対応機

Discover What's Possible™

Anritsu

2006年下期の取り組み—計測器事業(2)

2. IP・光・デジタル分野

現在の市場認識	下期施策
コアネットワークの超高速化 40Gbps伝送装置・デバイスの開発	新型40G-SDHアナライザ、シグナルクオリティアナライザの市場投入
米国・日本・中国の光ネットワーク建設投資活発	新型アクセスマスタ(光アクセス用計測器)市場投入



NEW
MP1800A
シグナルクオリティ
アナライザ



NEW
MP1595A
40G SDH/SONET
アナライザ

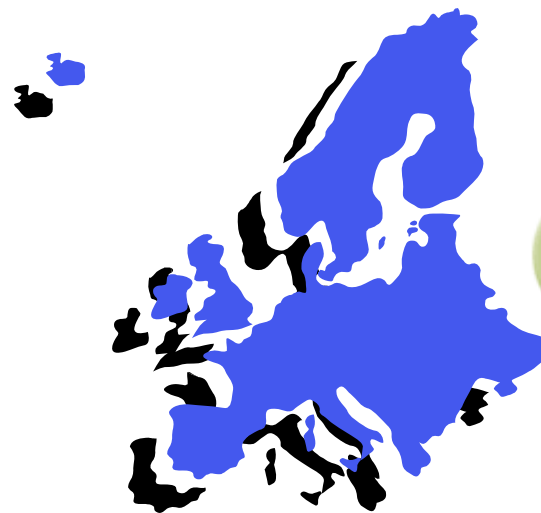


NEW
MT9082A アクセスマスタ
多機能・高性能な
光・IP複合計測器

2006年下期の取り組み—計測器事業 (3)

3. サービスアシュアランス分野

現在の市場認識	下期施策
欧州主要携帯電話オペレータ間の競争激化により、差別化のための通信品質保証ソリューションの需要拡大	欧州重点顧客への集中販促とプロジェクトマネジメント徹底による収益改善



2006年下期の取り組み

情報通信事業・産業機械事業・その他の事業

現在の市場認識	下期施策
<p>情報通信： 防災にシフトする官公庁設備投資 企業ネットワーク用帯域制御需要 の高まり</p>	<p>防災分野の官公庁需要にフォーカス、 企業ネットワーク用帯域制御装置で民 需を開拓</p>
<p>産業機械： 食品業界の設備投資が回復</p>	<p>X線異物検出機と重量選別機の海外 拡販</p>
<p>その他： 堅調な光デバイス需要とプリント板 実装検査需要</p>	<p>光デバイスと印刷はんだ検査機での需 要取り込み</p>

通期の見通し(連結)

単位:億円 △:損失

		06/3期	07/3期		
		通期実績	中間期実績	通期予想 今回	通期予想 4/26予想
売上高		913	465	990	980
営業利益		45	19	70	65
経常利益		16	3	40	35
税引前利益		20	1	40	35
当期純利益		6	△ 4	27	25
計測器	売上	651	344	730	730
	営業利益	53	16	55	55
情報通信	売上	72	21	65	65
	営業利益	△ 20	△ 5	0	0
産業機械	売上	122	62	125	125
	営業利益	8	3	8	8
その他	売上	67	38	70	60
	営業利益	4	5	7	2

配当計画

期初配当計画に変更ありません

- 2006年度中間期：一株当たり3.5円
- 2006年度通期：一株当たり7円（計画）